

やお市議会だより



令和4年度の決算審査 市民の税金はどう使われた

- ▶ 11人の個人質問 市政に何を問う
- ▶ 八尾河内音頭まつりに出場 議員連も会場を盛り上げた

定例会の概要

主な補正予算の概要

出産・子育て応援事業

1億318万円



令和5年10月以降の出産・子育て応援事業の実施に係る経費を増額補正しました。

[主な内容]

・伴走型の相談支援と経済的な支援を一体的に実施する、出産応援ギフト及び子育て応援ギフトの給付に係る経費。

障がい福祉分野のICT導入モデル事業等

155万円



国の障がい福祉分野のICT導入モデル事業等の実施に係る経費を増額補正しました。

[主な内容]

・障がい福祉分野における、ICT導入モデル事業及び介助用ロボット等導入支援事業の実施に係る経費。

→委員会での審査内容は9ページ参照

出産・子育て応援事業に関する 補正予算を可決

令 和5年9月定例会は9月6日から10月25日まで開会し、初日から2日間かけて11人の議員が市政全般について個人質問を行いました。放課後児童支援員の資格要件を変更する条例改正案などが提出され、所管の委員会で審査し、9月27日の本会議で全ての議案を可決・承認しました。また、人事議案が追加提出され、同意しました。

また、10月中には、令和4年度決算関連議案について予算決算常任委員会で審査し、10月25日の本会議で決算関連の全議案を可決・認定しました。

▶個人質問は4～6ページ、議決結果は14ページに掲載

可決した 主な議案

令和5年9月定例会で可決された主な議案から市議会が注目した内容をご紹介します。

放課後児童支援員資格要件の変更

放課後児童支援員の資格要件に、「職員の研修計画を定めた上で、放課後児童支援員としての業務に従事することとなった日から2年以内に研修を修了することを予定している者」が追加されました。

→委員会での審査内容は9ページ参照



保健所事務手数料条例の一部改正

生活衛生関係営業等（旅館業を除く。）の営業者が必要に応じて円滑かつ簡便に事業譲渡を行えるよう、合併・分割・相続の場合と同様に、事業を譲り受けた者は、新たに許可の取得等を行うことなく、営業者の地位を承継するとされたことに伴い、事業譲渡に伴う許可等に係る手数料を廃止するための条例改正が行われました。



議会活動の記録

本会議 (9月6日、7日、27日、10月25日)	予算決算常任委員会（全体会） (9月21日、27日、10月19日)
議会運営委員会 (8月21日、25日、9月13日、26日、10月23日)	予算決算常任委員会（理事会） (8月25日、9月20日、10月18日)
総務常任委員会、予算決算常任委員会（総務分科会） (9月15日、10月13日)	各派代表者会議 (8月21日、9月6日、26日、10月23日)
建設産業常任委員会、予算決算常任委員会（建設産業分科会） (9月12日、10月11日、26日)	議会だより編集委員会 (9月4日、27日、11月6日)
文教常任委員会、予算決算常任委員会（文教分科会） (9月13日、10月12日)	意見書調整会議、幹事長会議 (9月25日)
健康福祉環境常任委員会、予算決算常任委員会（健康福祉環境分科会） (9月14日、10月10日)	

スマホで 議会がより身近に！！

映像配信



タイムリーに情報発信
見たい会議・議員の質問も
会議後約1週間でアップ！



市議会へのご意見、
ご感想お待ちしております

メールアドレス：sigikaijimukyoku@city.yao.osaka.jp

アプリ マチイロ

アプリで議会だよりを登録すると、
プッシュ通知で発行をお知らせ！



個人質問



QRコードから、各議員の質問の映像を見ることができます。

Q 給食費の無償化は本来国において対応すべきだが、現時点では対応していない。小・中学校の無償化を継続するためにどの程度の予算が必要なのか。また、中期財政見通しはどうなっているのか。

A 小学校で約6億5千万円、中学校で約3億5千万円、合計で年間約10億円が必要と見込んでいる。単年度で17億円程度財源が不足する見通しとなっており、それを埋めるために財政調整基金等を充てていくが、基金残高が約60億円を指す計画を立てている。

Q 市長マニフェストを安定的に実行継続するにはいくらの財源が必要なのか。

A 給食費無償化やほかのマニフェスト項目も含めると概算ではあるが、年間約15億円を超える財源が必要と考えている。

その他の質問項目

- ふるさと納税について
- 近鉄線の連続立体交差化について

¥ 給食費の無償化継続のための予算は

大阪維新の会
坂本 尚之
なほゆき

人 警報時の登下校子どもの安全確保は

無所属
露原 行隆
ゆきたか

Q 気象警報発表時における児童・生徒の登下校の対応については、細心の注意を払うべきだと考えるがどうか。

A 児童・生徒の安全確保を最優先に、より良い安全対策の視点で関係課と協議を行い、方針の見直しを図っている。

Q 安全な登下校について、具体的にどのような方針の見直しを図るのか。

A 授業中に警報が発表された場合、防災情報における気象の推移や、大和川の氾濫警戒情報、土砂災害警戒区域での避難情報警戒レベルを確認し、下校や待機の判断をするといった見直しを検討している。

Q 非常時においても放課後等デイサービスと緊密に連携することは重要と考えるがどうか。

A デイサービスへの引き渡しは、非常時も含め、基本的には保護者からの連絡や利用の有無を確認した上で対応している。

産前産後のサポート周知の強化を

大阪維新の会
景山 和香
わなか

Q 妊娠出産における母体への負担の軽減を図るため、産後ケア事業は非常に有効である。しかし、事業の周知が不足していると感じるがどう考えるか。

A ホームページや子育て応援ブック等に加えて、様々なチャンネルを活用した面談においても周知を図っている。利用率は国とほぼ同じであり、現在は必要な方には行き渡っていると考えているが、今後の動向を見ながらキャパシティを増やすよう努めていく。

Q 産後ケア事業を当事者が利用しやすいような工夫は行っているのか。

A 出産後すぐに利用できるような妊娠9カ月から申請を受け付けるとともに、施設には育児用品を揃えるなど、当事者が少ない荷物で利用できる配慮をしている。

その他の質問項目

- 子育て支援の所得制限について
- ママサポート事業について



町会活動を活性化するため、新たな方策が求められる。

その他の質問項目

- 八尾市営住宅全体について

八尾市営住宅の災害対応について

八尾の未来を紡ぐ会
吉村 拓哉
たくや

Q 令和5年7月、西都市営住宅で火災が発生し、住民に大きな混乱が生じた。このような市営住宅における危機事象のマニュアルが必要と考えるがどうか。

A 市営住宅のような大規模団地を対象として、今回の教訓を基にマニュアルを作っていく必要があると考える。

Q 町会加入率が減少しているが、今後、町会活動を維持・継続していくための新たな手法とは、どのようなものか。

A 自治振興委員会との議論も含め考えていき、町会の活性化や加入率を少しずつでも上げていけるようなガイドラインを作っていくたい。

議員の

Q

& 市の

A

2日間 11人の

個人質問



税金の使い道は？

八尾市の課題って何なの？

市のサービス何が変わるの？

奨学金の返済補助金等の支援を

日本共産党
越智 妙子
おちたえこ

Q 物価高騰が暮らしを襲い子どもたちを苦しめている。大学に通う2人に1人が奨学金を利用し、その額は4年間で1人当たり平均300万円にも達している。その返済が結婚や子育てなど若者の生活設計の重荷になっている。誰もが大学等に安心して通えるよう、奨学金返済に本市が補助金を出すなどの支援が必要ではないか。

A 本市独自の補助制度を設けることは新たな財源が必要ことから困難である。大学等の奨学金制度の拡充については、引き続き国や府に要望していく。

Q 子どもたちが安心して医療を受けられるように、18歳までのこども医療費の窓口の支払い額をゼロにするべきではないか。

A 無料化を行うには必要となる財源の安定的な確保のほか、府内の医療機関との調整など様々な課題があり慎重に検討する必要がある。

ジェンダーの視点で女性の尊厳の保障を

日本共産党
田中 裕子
ゆうこ

Q 八尾市史において、第二次世界大戦後、当時の大正飛行場に米軍が駐留したことによる売春や性暴力があった実態について、ジェンダーの視点で記録し、女性支援法に生かすべきではないか。

A 性売買・性暴力の問題についてはジェンダーの視点でとらえる必要があり、様々な文献等を確認しながら、指摘された内容も含め新たな発見等がある場合、今後の市史編さんに反映していく。

米軍の進駐・駐留の年表（田中裕子議員調べ）

年	月	変 遷
昭和 20 年 (1945 年)	8 月	大正飛行場に米軍が進駐し、阪神飛行場と呼称する。
昭和 27 年 (1952 年)	4 月	阪神飛行場の一部が民間使用許可になる。兵舎跡の大半が大阪府に払い下げされる。
	6 月	阪神飛行場の米軍が朝鮮戦争に進出する。
昭和 28 年 (1953 年)	8 月	米軍が再駐留する。
昭和 29 年 (1954 年)	5 月	阪神飛行場の米軍が移駐する。
	8 月	阪神飛行場が日本に全面返還される。

その他の質問項目

- 災害時の職員体制について
- 市内介護事業者との連携について
- 庁舎内での特定政党機関紙の集金・勧誘の是正について

大規模災害に備えて地域の防災力向上を

八尾保守の会
松田 憲幸
のりゆき

Q 災害発生時に共助の基礎となる町会において、加入者の高齢化や加入率の低下が見られるが、共助を強化するために市としてどのような対策をするのか。

A 地域活動の基盤となる町会の共助における役割は大きく、より多くの現役世代が参加できるように町会活動の内容や運営方法を見直していくことが重要と考えている。

Q 深刻化する若年世代のひきこもり対策について、市の取り組み内容とその成果は。

A 臨床心理士等の対面による相談窓口の設置により、相談件数が大幅に増加し、関係機関との連携による支援も充実してきている。

八尾河内音頭まつり を盛り上げました

令和5年9月10日（日）第46回八尾河内音頭まつりが開催され、河内音頭グランプリに八尾市議会議員連として出場しました。

今年度の河内音頭グランプリはファミリーロード商店街・城正会商店街を会場として行われ、多くの観客で賑わう中、議員一丸となって踊りを披露し大いに盛り上げました。



最後まで笑顔で踊り切りました。



リラックスしてスタンバイ。



息の合った踊りを披露。

八尾市議会 × 大阪経済法科大学 インターンシップ生 を受け入れました

八尾市議会では大阪経済法科大学と地域連携の覚書を締結しており、同大学の学生をインターンシップ生として受け入れ、約2週間、9月定例会の議会運営や市議会事務局の業務を経験していただきました。

学生や若い世代の市議会・政治への関心を高めるため、連携を生かし、今後も様々な取り組みを進めていきます。

インターンシップ生からの感想

議会運営に関わる仕事を体験させていただき、市役所の仕事の幅広さを実感するとともに、直接ではなくともあらゆる形で市民の方のために働いていることを知り、視野が広がりました。今回の経験を将来に役立てられるように頑張っていきたいです。



インターンシップ生の受け入れは、2013年より継続して実施しています。



QRコードから、各議員の質問の映像を見ることができます。

個人質問



修学旅行での
伊勢神宮参詣は

新声
やまなか ひろし
山中 宏



お出かけ応援事業と
補聴器購入助成を

日本共産党
たにざわ ちかこ
谷沢 千賀子



人事給与制度の改革
現状の客観分析を

大阪維新の会
いなもり ひろき
稲森 洋樹



フェーズフリーで
災害に備えよ

公明党
みなかた たけし
南方 武



Q 令和4、5年度と修学旅行での伊勢神宮参詣を行っていないとのことだが、他の神社等への参詣の実績は。
A 令和4年度に広島方面へ3校が修学旅行に行き、いずれも宮島へ渡り厳島神社へ行っている。
Q 日本の伝統文化をしっかりと見てもらうため、伊勢神宮参詣の再開に向けた具体的な行動が必要ではないか。
A 伊勢神宮などの参詣を禁止するような国の通知はないことなどを、校長会等で伝えていくことは可能と考える。
Q 公営住宅の在り方について、少子高齢化が進む中、建て替えなど単にハードの更新・供給だけをすすめるのではなく、多様化するニーズや課題に対応していくべきではないか。
A 借上公営住宅など、民間活用等含めて、時代に応じた整備方法を検討していく必要がある。

その他の質問項目

●行財政改革について

Q 令和5年4月からアリオ八尾と市立病院を結ぶバス路線が減便され、午前の便が減り市民の利便性に課題がある。患者の送迎用マイクロスバスやデマンドタクシーの運行などの対応は検討しているのか。
A バス会社からは24便から8便への提案だったが、2便増やしていただき10便となっている。市民の利便性を向上させるため、費用対効果を見ながら研究していきたい。
Q 補聴器購入助成制度について、過去の答弁では制度の必要性は認識しており、高齢者の健康施策全体の中で検討を行っているとのことだった。令和6年4月からの実施が必要と考えるが、現在の状況はどうか。
A 上限額の設定や対象者などにより予算額も変わってくる。継続して事業を行う必要があり条件等も含めて検討している。

その他の質問項目

●旧八尾図書館跡地活用事業について

Q 職員の期末勤勉手当の年功的役職加算について、現行制度のままでは昇格意欲をそぎ、過大な超過勤務の発生要因にもなることから、見直すべきという考えか。
A 議員お示しのとおりである。
Q 一般ごみの収集に伴う指定休制度導入による超過勤務削減について、令和4年度に導入予定であったが、まだ出ていない状況か。
A 計画どおりには進捗していない。
Q 直営ごみ収集の乗車体制見直しについて、市が報告書に掲げる目標が達成出来ないという状態にならないよう、取り組みを進めるべきと考えるがどうか。
A 場合によっては2人乗車での収集が可能な部分があるのではないかと課題認識している。可能なところは2人乗車でやっていくという考えで進めていきたい。

その他の質問項目

●コミュニティ通貨について

Q 消防本部新庁舎の建設計画が進められているが、この機会にフェーズフリーの機能を盛り込むべきではないか。
A 機能的な防災拠点となるように、フェーズフリーの導入について調査・研究していく。
Q 一定規模の災害備蓄倉庫が必要ではないか。
A 市全体の備蓄倉庫については、今後、関係部局と協議を図りながら、機能的かつ強靱な防災拠点となるよう研究していく。
Q 市民や民間企業と協力し、フードドライブの取り組みを進めるとともに、市の災害備蓄品や給食の残渣の活用を含めた食品ロス対策を行うべきと考えるがどうか。
A 公民連携の中でフードドライブの仕組みづくりができるよう、食品ロス対策について議論・整理していきたい。

その他の質問項目

●生物多様性について

委員会で詳しく審査

総務 常任委員会・分科会

蓄電池設備の単位の変更 周知はどう行うのか？

Q 蓄電池設備の単位をこれまで使用していた「アンペアアワー・セル」から一般的に用いられている「キロワットアワー」に改め、規制対象や届出対象となる蓄電池設備の容量を改正することだが、市民や事業者のように周知するのか。

A ホームページで周知するとともに、蓄電池については令和6年1月1日から関係業界の事業者を通して変更の通知がされたいと考えている。

Q 常備消防費について、職員採用に伴う被服等の購入に係る費用で162万4千円が増額補正されているが、職員採用の状況はどうなっているのか。

A 令和4年度末に、急遽3名の退職者が発生したことにより、令和5年4月1日付で2名を採用した。また、令和5年9月に採用試験を実施し若干名採用予定となっている。

電池種別	Ah・セル	電圧(V)	蓄電池容量(kWh)
鉛蓄電池	4,800	2	9.6
ニッケル水素蓄電池		1.2	5.76
リチウムイオン蓄電池		3.7	17.76

現行予定(4,800Ah・セル)を基準とした
主な蓄電池設備の蓄電池容量(kWh)
(出典) 消防庁資料

委員会で審査した議案

●八尾市火災予防条例の一部改正の件

分科会で審査した議案

●令和5年度八尾市一般会計第6号補正予算の件(所管分)

建設産業 分科会

南部低区配水池の耐震化事業 物価高騰による影響は？

Q 建設改良費において、南部低区配水池耐震化事業の令和5年度の事業費が減額となった理由は。

A 労務単価や資材単価の高騰によって入札が不調となり、契約が先延ばしとなったことから令和5年度の事業費を減額した。一方で、事業費の総額は、2億3000万円の増額となった。

Q 労務単価や資材単価は、今後も高騰し続ける可能性があり、契約後に市場価格が変動した場合、どのように対応するのか。



南部低区配水池は、高安受水場から受水・貯水し、市内南部の配水を担っている。

分科会で審査した議案

●令和5年度八尾市水道事業会計第2号補正予算の件

また、工期に影響はないのか。

A 工事請負契約約款に、賃金又は物価の変動に基づく請負代金額の変更条項があり、双方の協議による変更契約により対応していく。また、工期については改めて工事内容を精査し、事業者の労働安全衛生を踏まえた上で、令和10年度中に竣工できるものと判断している。

議案をしっかりとチェック

文教 常任委員会

放課後児童支援員の資格要件変更 子どもの安全は？

Q 改正案では、大阪府の認定資格研修を受けていない支援員が保育をする期間が出てくるが、保護者が期待する子どもが安心して過ごせる遊びや生活の場として、放課後児童室を現行通り担保できるのか。

A 基本的には、社会福祉士・保育士・教員免許所持者・2年以上の実務がある方といった基礎的な資格を持っている方が対象になるため、質の担保はできていると考えている。

Q 従事開始から2年間で研修を受ける必要があるが、研修を受けているかどうかを市は把握できるのか。

A 大阪府の研修を受けるに当たり、本市を通じて申し込むため、受講の有無を確認することができる。

Q 本市は支援員が足りていない状況か。

A 市内には放課後児童室が86クラブあり、支援員は192名と平均2名以上配置されていることから、安全に保育できる体制は確保できている。



放課後児童支援員の資格要件に、「職員の研修計画を定めた上で、放課後児童支援員としての業務に従事することとなった日から2年以内に研修を修了することを予定している者」が追加された。

委員会で審査した議案・請願

●八尾市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正の件
●2024年度八尾市の教育条件整備についての請願の件

健康福祉環境 常任委員会・分科会

障がい福祉分野における ICT導入モデル事業等とは？

Q 障がい福祉サービス費に155万円を増額する補正予算が提案されているが、どのような内容か。

A 国の障がい福祉分野におけるICT導入モデル事業及びロボット等導入支援事業の実施に係る経費であり、補正予算155万円の内訳としては、国庫支出金が98万6千円、市の一般財源が56万4千円である。

Q 全ての障がい福祉サービス業者に施設整備等補助金の案内を行っているということだが、仮に全ての事業者が希望した場合、受理制限はないのか。

A 受理件数等の上限はないため、国が定める補助金基準に合致すれば、基本的には国に対して補助金の交付申請を行い、国において審査されることとなる。



障がい福祉分野におけるICTやロボット等の導入により、新型コロナウイルスの感染拡大防止や生産性向上を促進し、安全・安心な障がい福祉サービスの提供が期待される。

委員会で審査した議案・請願

●八尾市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部改正の件
●国民健康保険料の引き下げを求める請願の件

その他議案2件 請願1件

分科会で審査した議案

●令和5年度八尾市一般会計第6号補正予算の件(所管分)



令和4年度 決算審査

八尾市のお金の使われ方 委員会で詳しく審査!!

< 決算審査スケジュール >

9月

27日

本会議
予算決算常任委員会 全体会

決算関連議案が本会議で上程され、予算決算常任委員会に付託する。その後、全体会で令和4年度の決算関連議案12件を4つの分科会に送付することが決定する。

10月

10日
～
13日

予算決算常任委員会 分科会

市の決算は多岐にわたるため、4つの分科会（総務・建設産業・文教・健康福祉環境）に分かれ、それぞれ担当の分科会で専門的に審査する。

10月

19日

予算決算常任委員会 全体会

討論と採決を行う。

10月

25日

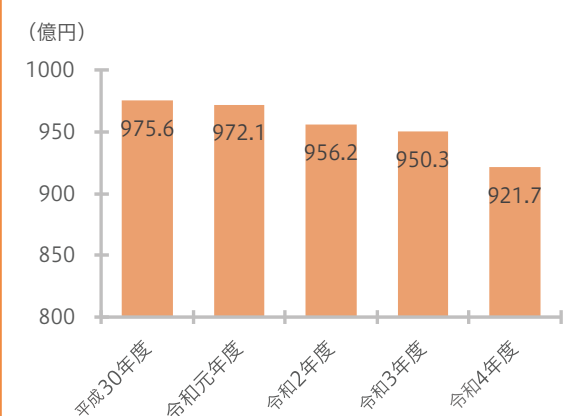
本会議

予算決算常任委員長から決算関連議案についての審査結果報告の後、討論と採決を行う。

12、13ページで
Pick up !!

市債残高の推移

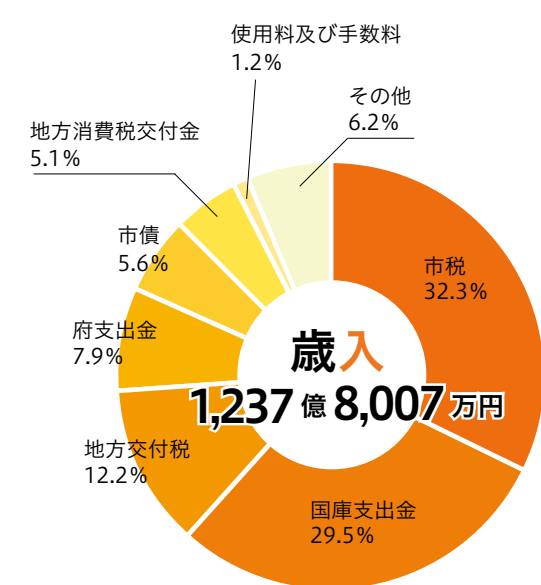
市債（地方債）
…主に道路や学校等の公共施設を整備する際の財源として、国や民間金融機関から借り入れする。長い期間使えるものを、建てた時の世代だけでなく将来の世代も公平に負担する。



普通会計における市債の令和4年度末残高は、前年度より28億5,741万2千円（3.0%）減の921億7,169万9千円で、人口1人当たりでは前年度より8,575円（2.4%）減の35万1,803円となった。

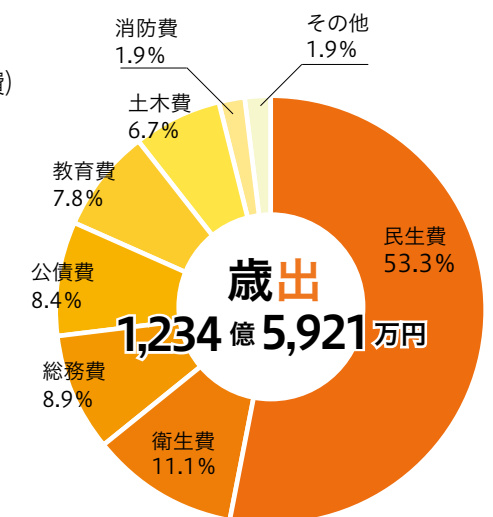
決算審査とは？

9月定例会では、令和4年度の決算審査を行いました。予算が適正で効率的に使われていたかなどをチェックし、市民の皆様の税金の使われ方を市議会で最後までしっかり確認します。



- ①市税 ……400億1,549万円
(個人・法人市民税、固定資産税などの市に納めていただいた税金)
- ②国庫支出金 ……365億5,675万円
(市が行う特定の事業に対して、国が負担・補助したお金)
- ③地方交付税 ……150億4,222万円
(市民の皆さんが国に納めた税金から、市の財政状況に応じて国から交付されるお金)
- ④府支出金 ……97億6,127万円
(市が行う特定の事業に対して、府が負担・補助したお金)
- ⑤市債 ……69億4,263万円
(長期間使われる公共施設の整備にかかる借入金)
- ⑥地方消費税交付金 ……62億8,199万円
(市民の皆さんが納めた消費税の一部)
- ⑦使用料及び手数料 ……14億6,096万円
(市の施設を利用したときや、証明書を発行した際に支払っていただいたお金)
- ⑧その他 ……77億1,871万円
(寄附金、諸収入、繰越金など)

- ①民生費 ……658億1,652万円
(子育て支援、障がい者・高齢者の福祉などの社会保障にかかる経費)
- ②衛生費 ……137億14万円
(予防接種や健診などの保健事業、ごみやし尿の収集処理、保健所の運営などにかかる経費)
- ③総務費 ……109億5,687万円
(庁舎管理、市税の賦課徴収、戸籍の管理、選挙などにかかる経費)
- ④公債費 ……103億4,015万円
(借金の返済金)
- ⑤教育費 ……96億5,787万円
(学校教育や社会教育などにかかる経費)
- ⑥土木費 ……82億9,086万円
(道路、公園などの整備や、維持管理などにかかる経費)
- ⑦消防費 ……23億6,370万円
(消防や救急などにかかる経費)
- ⑧その他 ……23億3,307万円
(産業費、議会費など)



一般会計・その他の会計
全て
認定
しました

		歳 入 (千円)	歳 出 (千円)
特別 会計	国民健康保険事業特別会計	28,819,775	28,596,575
	財産区特別会計	20,580	20,580
	介護保険事業特別会計	27,719,979	27,460,892
	後期高齢者医療事業特別会計	7,611,904	7,561,750
	土地取得事業特別会計	1,036,795	1,036,795
	母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計	94,027	11,282

		収 入 (千円)	支 出 (千円)
公営 企業 会計	病院事業会計	収益の収支	16,559,379
		資本の収支	1,036,219
	水道事業会計	収益の収支	5,930,894
		資本の収支	1,176,730
	公共下水道事業会計	収益の収支	9,901,055
		資本の収支	2,682,607



QRコードから、全ての委員会の映像を見ることができます。

Pick up !!

決算審査

を見てみよう！

一般会計、特別会計、公営企業会計について、予算決算常任委員会の4つの分科会で令和4年度の市の決算を詳しく審査しました。
 予算の使い方が適正であったか、効果や効率はどうだったかなどを審査する中、議員からどのような質疑があったのか、その内容について紹介します。

一般会計

歳入

今後の歳入確保の
取り組みについて

Q 令和4年度決算におけるがんばれ八尾応援寄附金について、7億9591万7千円増加（対前年度比で82・6%増）の17億5944万2千円の歳入となっている。今後は制度変更の可能性などもあり、これだけに頼ると確実な財政運営が見込めないと考えるが、ふるさと納税以外の歳入確保についてはどうか。

A ふるさと納税はあくまでも臨時的な歳入となっており、現在の厳しい財政状況の中では、経常的に入ってくる財源を確保することが重要と考えている。課税客体の捕捉なども高め高い税率を維持し、地道な財源確保に努めていきたいと考えている。

一般会計

歳出

小学校給食の
無償化について

Q 小学校給食の無償化で実績値5億7068万9760円の内5億5093万円が臨時交付金となっている。子育て家庭への経済的負担の軽減に寄与することができたことだが、この決算を踏まえ、臨時交付金が無くなっても事業は継続していけるのか。

A 限りある財源をしっかりと精査し、給食の無償化のためだけではなく行財政改革を進め、新しい行政需要に対応できるように財源を確保しながら進めていく。



取り組み実績

八尾市立小学校及び義務教育学校（前期課程）の学校給食費を年間を通じて無償化した。
 ・対象児童：約12,610人

特別会計

国民健康保険事業

特定健診受診率について

Q 特定健診について、令和4年度の受診率が33・02%と目標値には達していないが、受診率向上のためどのような取り組みを行ったのか。

A 新型コロナウイルス感染症の流行による外出控えが影響したが、特定健診は命を守るうえで必要なものであると啓発し、各地域の団体にも説明を行った。また、直近では従来の市政だよりやホームページでの啓発に加え、市内主要駅での放送などの周知を行っている。



※特定健診とは

糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病の予防を図ることを目的とした、メタボリックシンドロームに着目した健康診査。

特別会計

介護保険事業

オレンジパートナー
養成について

Q 認知症施策において、オレンジパートナーは非常に重要な役割を担うが、令和4年度の登録者数34名という実績はどう考えるか。また、今後増やすためにどのような取り組みをしていくのか。

A これから更にオレンジパートナーを増やしていく必要があると考える。認知症サポーターの方がステップアップ研修を修了し、登録することでオレンジパートナーとなるため、認知症地域支援推進員の協力を得ながら、認知症サポーターの方への声かけを行っていく。

※オレンジパートナーとは

認知症サポーターの方で、より認知症の人や家族の支援について学びを深める「オレンジパートナー養成研修」を受講した方。認知症カフェの手伝いやオレンジパトロール、オレンジ清掃活動などを行う。

企業会計

病院事業

純利益黒字決算について

Q 令和4年度の純利益について、約10億1105万円の黒字となった要因は。

A 主な要因としては、入院収益の増加が挙げられる。具体的には、①職員定数の引き上げにより看護体制が充実し、診療単価が増加したこと、②急性期充実体制加算により診療単価が増加したこと、③RSウィルスの流行に伴う入院患者数が増加したことなどが要因と考える。

※急性期充実体制加算とは

地域において急性期・高度急性期医療を集中的・効率的に提供する体制を確保する観点から、手術等の高度かつ専門的な医療に係る実績及び高度急性期医療を実施する体制を評価したもの。

企業会計

水道事業

水道工事の
施工管理について

Q 水道工事の施工不良を予防するため、現場の管理はどのように行っているのか。また、工事管理を行う技術職員の確保はどのように行っているのか。

A 事前に事業者から提出された品質管理、工程管理、安全管理に係る施工計画書を、水道技術管理者を含めて確認しており、施工中においても同様の管理項目に係る中間検査等を行っている。技術職員の確保については、大阪市水道局との技術協力に関する連携協定に基づき、多様な技術研修に参加することで、技術承継を図っている。

※水道技術管理者とは

水道法において水道事業者（上水道・簡易水道）、水道用水供給事業者、専用水道設置者が必ず設置しなければならないと定められている技術面での責任者のこと。

企業会計

公共下水道事業

収益の確保と
経費の効率化について

Q 下水道使用料の料金体系を令和7年度までは維持していくとのことだが、どのような経営努力を図っていくのか。

A 処理区域内の水洗化率を上げるなど、収益の確保を図ると同時に、下水道施設の中長期的な維持管理と修繕に係る経費については、ストックマネジメント計画に基づき、必要な事業を最小の人員、最小の費用で着実に進めていくため、事業の実施手法も含め、様々な研究をしながら効率的・効果的に経営していく。

※八尾市公共下水道ストック マネジメント計画とは

下水道施設全体を対象に、優先順位を設定し、中長期的な維持管理と修繕・改築を計画的かつ効率的に管理する計画のこと。下水道施設の安心安全の確保、安定したサービスレベルの確保、ライフサイクルコストの低減等を目標とし、持続可能な下水道施設管理の最適化を目的としている。

請願

国または地方公共団体の機関に対して、その職務に関する事柄について文書で希望を申し述べるもので、提出する場合は、議員の紹介が必要です。

所管の委員会で審査し、本会議で採決を行いました。

不採択 家庭ごみ収集事業についての請願

〔請願項目〕
・家庭ごみ収集事業は八尾市直営を堅持すること。

不採択 2024年度八尾市の教育条件整備についての請願

〔請願項目〕
・今年度実施のダブルカウント制度を中学校・小学校低・中学年に広げ、学級数に必要な教職員を確保してください。
他6項目

不採択 国民健康保険料の引き下げを求める請願

〔請願項目〕
・高い国民健康保険料を引き下げること。

21日(木)	20日(水)	15日(金)	12日(火)	11日(月)	8日(金)	7日(木)	4日(月)	1日(金)	12月	30日(木)	11月	12月定例会の予定
本会議(議案採決)	議会運営委員会	予算決算常任委員会(全体会)	総務常任委員会 予算決算常任委員会(総務分科会)	建設産業常任委員会 予算決算常任委員会(建設産業分科会)	健康福祉環境常任委員会 予算決算常任委員会(健康福祉環境分科会)	文教常任委員会 予算決算常任委員会(文教分科会)	本議会(予備日)	本会議(予備日)		本会議(議案説明・個人質問)		

フォローお願いします！
八尾市議会 SNS

Facebook
@yao.shigikai



X(旧 Twitter)
@yao_shigikai



議会の情報を
チェック☆



カタログ ポケット
Catalog Pocket

アプリで
議会だよりが
読める! 聞ける!

多言語(10言語)
音声読み上げに対応



Android版



iOS版



令和5年9月定例会 本会議議決結果

○賛成 ×反対 ー退場 (請願は○採択 ×不採択)

賛否が分かれた議案等								
件 名 [] は討論件数	議決 結果	大阪維新 の会	公明党	八尾保守 の会	八尾の未来 を紡ぐ会	日本共産党	新声	会派に所属 しない議員
		景山 和香 木村 健二 稲森 洋樹 鑄方 淳治 松本 剛 坂本 尚之 榊井政佐 奥田 慎二 田中 信宏	福永美智子 南方 武 五百井真二 前園 正昭 西田 尚美	川上 舞 松田 憲幸 田中 久夫	柴谷 匡哉 西川 あり 吉村 拓哉	田中 裕子 谷沢千賀子 越智 妙子	山中 宏 竹田 孝史	露原 行隆
令和5年度八尾市一般会計第6号補正予算の件 [反対1]	可決	○	○	○	○	×	○	○
令和4年度八尾市一般会計歳入歳出決算認定の件 [認定1 不認定2]	認定	×	○	○	○	×	○	○
令和4年度八尾市国民健康保険事業特別会計歳入 歳出決算認定の件 [不認定1]	認定	○	○	○	○	×	○	○
令和4年度八尾市介護保険事業特別会計歳入歳出 決算認定の件 [不認定1]	認定	○	○	○	○	×	○	○
令和4年度八尾市後期高齢者医療事業特別会計歳 入歳出決算認定の件 [不認定1]	認定	○	○	○	○	×	○	○
令和4年度八尾市母子父子寡婦福祉資金貸付金特 別会計歳入歳出決算認定の件 [不認定1]	認定	○	○	○	○	×	○	○
令和4年度八尾市水道事業会計決算認定の件 [不認定1]	認定	○	○	○	○	×	○	○
家庭ごみ収集事業についての請願の件 [採択1]	不採択	×	×	×	×	○	×	×
2024年度八尾市の教育条件整備につ いての請願の件 [※]	項目1	不採択	×	×	×	○	○	×
	項目2～6	不採択	×	×	×	○	×	×
	項目7	不採択	×	×	×	○	×	×
国民健康保険料の引き下げを求める請願の件 [採択1]	不採択	×	×	×	×	○	×	×

◆田中慎二議員は議長のため採決に加わらない。

[※] 採択1、不採択1、項目1～6不採択・項目7採択1

全会一致の議案等

件 名 [] は討論件数	議決 結果	件 名 [] は討論件数	議決 結果
損害賠償に関する和解専決処分承認の件	承認	令和5年度八尾市水道事業会計第2号補正予算の件	可決
令和4年度八尾市水道事業会計未処分利益剰余金の処分の件	可決	八尾市教育委員会委員を任命するについて同意を求める件 (藤井奈緒氏)	同意
令和4年度八尾市公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処 分の件	可決	令和4年度八尾市財産区特別会計歳入歳出決算認定の件	認定
八尾市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準 を定める条例の一部改正の件	可決	令和4年度八尾市土地取得事業特別会計歳入歳出決算認定の件	認定
八尾市災害派遣手当等の支給に関する条例の一部改正の件	可決	令和4年度八尾市病院事業会計決算認定の件 [認定1]	認定
八尾市保健所事務手数料条例及び八尾市旅館業法施行条例の 一部改正の件	可決	令和4年度八尾市公共下水道事業会計決算認定の件	認定
八尾市火災予防条例の一部改正の件	可決		



QRコードから、本会議の映像を見ることができます。

まえぞの まさあき
前園 正昭

○趣味

ウォーキング、ツーリング

○一度してみたいこと

本会議場での楽器演奏!!



みなかた たけし
南方 武

○趣味

アウトドア、釣り、たき火

○好きな食べ物

キャンプ料理



いおい しんじ
五百井 真二

○八尾のお気に入りスポット

近鉄服部川駅

(静けさと人の温かさを感じる)

○一度してみたいこと

南の島でスキューバダイビング



まつだ のりゆき
松田 憲幸

○趣味

格闘技、ゴルフ、読書

○尊敬する人

上岡龍太郎、桂枝雀



にしかわ
西川 あり

○趣味

ウクレレ

○してみたいこと

ダイビング免許を取って、
海中ごみ回収ボランティア



よしむら たくや
吉村 拓哉

○いま、はまっていること

Vtuber、ランニング

○尊敬する人

両親

市民に寄り添う 議員たち②

令和5年4月に選挙を終え、令和5年5月より新たな顔ぶれで八尾市議会は始まりました。

市議会議員26人の素顔を紹介します。

編集後記

長かった9月定例会が閉会し、息つく間もなく12月定例会が開会します。SNSでの情報発信も行っておりますので、引き続き市議会の活動にご注目ください。

議会だより編集委員会（◎委員長 ○副委員長）

◎ 前園 正昭 ○ 西川 あり

景山 和香 川上 舞 五百井 真二 山中 宏 田中 裕子

各ページの縦帯の柄は八尾市の伝統文化である河内木綿の「二様菊花唐草文」の図柄をモチーフにしています。